

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	法と政治 (日常生活と法) Law and Politics (Daily Life and Law)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:大内和直 /Eメールアドレス:dahnei@nagasaki-u.ac.jp /研究室:経済学部本館 603号 /オフィスアワー:毎週水曜 13時~14時30分			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:日常生活でよく見かける書面の意味を探る。領収書は支払いを証明するものだとわかるが、何を根拠にして発行されるのか。また、土地をめぐるトラブルに出てくる「権利証」とは何か、など。いくつかの書面を取り上げて、その内容や意味を探る。そのことにより、書面の重要性や必要性を認識し、自分の権利を守るために必要な知識を得る。</p> <p>授業方法:通常の講義を行なう。事前に配布するプリントに沿って各回のテーマを紹介し、スクリーン(またはパネル)に資料を提示しながら解説する。</p> <p>授業到達目標:講義の内容が理解できた後は、日常生活で見かける書面の意味がわかるようになる。また、必要な書面かどうかを判別できるようになる。特に、証拠としての意味をもつ書面については、文字や印影のうちのどこが重要なのか、説明できるようになる。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>第1回 基本概念とよく使う用語</p> <p>第2回 取引と多種多様な書面</p> <p>第3回 値段札の意味すること</p> <p>第4回 金銭支払いと領収書</p> <p>第5回 領収書の進化のあと</p> <p>第6回 不動産取引と権利証</p> <p>第7回 権利証の正体と役割</p> <p>第8回 中間まとめ</p> <p>第9回 契約書はどんなとき必要か</p> <p>第10回 契約書の形式(付録...ハンコの重み)</p> <p>第11回 契約書を伴わない取引1(慣習的取引)</p> <p>第12回 契約書を伴わない取引2(普通契約約款)</p> <p>第13回 広告・パンフレットはこう読む</p> <p>第14回 全体まとめ</p> <p>第15回 定期試験</p>			
キーワード	書面、債権発生、弁済、証拠証券		
教科書・教材・参考書	民法入門第5版(幾代通・遠藤浩 編;奥田昌道 補訂)有斐閣双書[11266-5] ¥1,890		
成績評価の方法・基準等	上記の目標に対して達成度を定期試験によって評価する。(配点率 100%) 出題された書面の意味、必要性、作成される根拠などを適切に解答できるかどうかによって評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			